

平成18年2月
第17号

外村会長に聞く

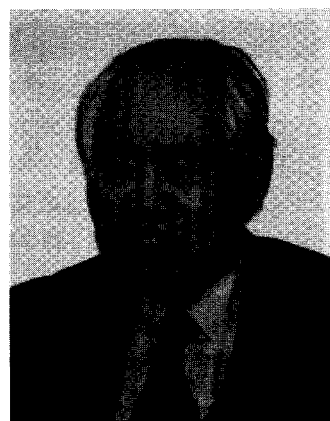
— 首都圏段戸会の役割 —

同窓会発展の仕組みづくり

長野 本日はお忙しいところお越し頂き有難う御座います

会長に就任されて4年目になるのですが、会長が当初目指しておられた同窓会活動とは、どのようなものだったのでしょうか？またこの3年余の間にどのように具体化されてきたのでしょうか？

外村 先ず考えたことは、一口で言えば地方の名門校の東京の同窓会は、しっかりしていなくてはならない、それが基本中の基本であるということ。岡崎高校が素晴らしい発展を遂げ、校長先生の話によると一学年で約1/4の学生が首都圏の学校へ来るとのこと、またかなりの卒業生が首都圏で社会人なる確率が高い。一方長い歴史を誇る母校のOB・OGは各世代にわたって多士済々であり、若いO



首都圏段戸会会長
外村 仁 (高8回)
名古屋大経済学部卒
野村證券(株)副社長
野村アセットマネジメント(株)
社長・会長
投資信託協会会長
現在ブラックロック・ジャパン(株)顧問

B・OGにとっては非常に頼りになる人的資源とも云える。そこで「首都圏段戸会」は何をするか、

世代の壁を乗り越え会員の間で自由な交流が始まり、それぞれの人脈を作つてゆく、そのお手伝いをするのが当会のミッションではあるまいかと考えたのです。

長野 私も参加させて頂いて、年の差を感じさせないで色々な活動が広がって行くなあと実感しています。

外村 そうなるといろいろ仕掛けを作らないといけませんよね、恒常的に会員同士が交流出来るような仕組みがないといけない。それで皆さんと相談して出来るところからやろうということ。首都圏段戸会の「ホームページ」が立ち上がり、また会員を講師として比較的少数で特定のテーマでお話を頂く「段戸フォーラム」、それから「趣味の会」、これは幅が広いですがから年代に関係なく自分の趣味に合

わせておやりになったら良い。最近では大学生と社会で頑張っているOB・OGが集まって、一種の進路指導というか進路相談をするという動きも出てきています。

長野 そのような仕組みを作ること、結局「総会・懇親会」の出席者も増えて来る。

外村 そうそう、年一回開催する総会・懇親会に何人出て来るかということとは、普段何をやっているかのバロメーターだし、一年の総決算として何人来てくれるのかなということだと思えます。また総会・懇親会が盛大になればなるほど、そこでまたいろいろな出会いが出て来て、相乗効果と言いましようか、細胞分裂が起きて新しい活動も始まってくるでしょう。

年代的にバランス良く

長野 昨年の総会・懇親会では「学割料

金」というのが設定してありましたが、大学生の出席はどうでしたか。

外村 十人程度の学生の出席がありました。首都圏段戸会を次の世代、またその次の世代へと繋げてゆくには、若い人達が大勢参加してくれることが必要です、その人達がまた仲間を引っ張って来てくれるのですから。

長野 まさに会長が行きたいと思われた方向に進んでいるようですね。たしかに、この4年間はそう感じる方向になりつつあります。大変有難いことに母校がほとんど発展して、言うなれば全国区になりつつあるということが基本にあつて、それが首都圏段戸会において、この四年間にモメンタムが高まったと、そんな感じがします。

長野 私も若手という立場で段戸会に入り、先輩達のお話を聞いたり、可愛がっていただき楽しくさせて頂いています。若手ばかりが増えたいという懸念もあり、会が年代的にバランス良く構成されるのも必要かなと思つたのですが、首都圏段戸会には旧制岡中時代の方からおられますが、高校一回の

方がいま七十歳代半ばになられて
いると思います。首都圏段戸会も
若手が増えると同時に高齢化
もして来ている。シニア会員はど
うするのかということも考えてお
かなければいけない。一つは「趣
味の会」等と一緒に楽しんで頂く
ということもあるだろうし、もう
一つは岡崎の本部同窓会にならっ
て七十歳（古希）を迎えたかたを
「総会・懇親会」にご招待申しあ
げるとすることも是非取り入れた
いと考えています。

「高校力」の発揮

長野 若手からしても、人生のしかも同
窓の先輩からお話を聞く機会があ
まり無いので、私どもからもご招
待したいと思っています。

ところで、最近大学というより
「高校力」という言葉が注目され
ていますか

外村 大学は大学で同窓生がいたりクラ
スメートもいる、卒業しても長く
付き合っている仲間はいますけ
ど、やはり大学という大勢の学
生、大教室の授業と、高校のよう
な親密さに残念ながら若干欠け
る。社会に出てから何十年経って
も懐かしいと思うのは、高校の

時に一緒に遊んだり悪いことをし
た連中が、どうしても中心ですも
のね。同窓生間の繋がりとか人脈
とか考えても、高校の同窓生の力
というか「高校力」というのは大
きいと思いますよ

長野 高校で教育を受けて首都圏へ出て
来る、同窓会へ出席すると社会で
幅広く活躍されている先輩方にお
会いする。その先輩方が、社会人
になってからの教育を担っている
と云えるのではないのでしょうか。

外村 最近、中高一貫教育というのが話
題になっていて、岡高は高校のみ
だけれど、首都圏段戸会を活用し
て高校と社会人の一貫教育が少し
づつでも出来れば良いのでは……。

長野 私も東京へ出てから大学時代は、
残念ながら同窓会の存在を知らな
かった。その頃出会っていたら、
もっと自分の進路などが相談でき
たかと思ったりしますので、良
いではありませんか。

外村 今の大学生は私たちの頃よりは自
分の進路というものを勉強してお
られると思いますが、それにして
もなかなか学生だと判らないこと
が多々あると思います。

そんな時に、例えば長野さんの世
代の人と学生達が一堂に会して、
官庁や企業での自分の体験談とか

学生の素朴な質問に答えてあげ
る、ということ是非常に有意義な
ことだと思うし、それが出来るの
は岡高のように学生も優秀で、O
B・OGもきちんと活躍している
ところに限られ、何処の高校でも
出来ることではありません。

首都圏へ来たら「会員登録」を

長野 今度始めて、この「首都圏段戸会
報」を母校の三年生に配布するこ
とになったのですが「首都圏へ行
けばお兄さんお姉さん達が待つて
いるよ」ということで、また東京
へ新しい学生達が来るのではと思
いますけど

外村 総会の折りなどに校長先生とお話
しているんですけど「岡高の若い
卒業生が、その様な組織が東京に
あるということを知っているの
は、非常に大事なことだし頼り甲
斐ありますよね」とおっしゃって
いて、それがヒントになって、じ
ゃあ「会報」を三年生にも配ろう
かということになった訳です。3
年生の皆さん、この会報を読んで、
首都圏へ来られたら是非会員登録
して下さい（注・首都圏段戸会の
ホームページから登録可）、そう
すれば種々の情報が得られますか



インタビューー
長野 麻子（高42回）
東京大学文学部卒
現在農林水産省消費・安全局
動物衛生課 課長補佐

ら。我々も新卒業生の方が、早く
東京の生活に慣れ、学生生活を快
適に送れる様に、お手伝い出来る
ことは何でもしたいと思っていま
す。
あなた方から見ればお兄さんお姉
さん、場合によってはおじいさん
おばあさんまで全員控えていますか
ら。

長野 そうですね、そういう呼びかけを
すればもっともつと……。
私も学生の時、東京でちよつと寂
しい思いもしましたけど、先に知
っていればそういうことも無くな
って良いですね。

東京でも三河弁で喋れるフォーラ
ムがあったりして（笑い）
本日はどうも有難うご座居ました。
（平成十八年一月七日 航空会館
第二サロンにて収録）

首都圏段戸会に関するお問い合わせは、ホームページの問い合わせ欄、

またはメールアドレス nqd28299@nifty.com へ送信下さい。

趣味の会活動

段戸囲碁会

趣味の会では最も歴史が古く、最も活動している会だと自負しています。毎月、学生会館で月例会を開催し、囲碁会の後の一献会で囲碁のことは勿論のこと、岡高時代、仕事、家族のことなど先輩後輩が親身になって歓談し、和気藹々の中にも大変有意義な時間を過ごしています。ボケ防止には最高です。六段から3級ま

で約20人の多士済々の岡高健児が楽しんでいます。初心者大歓迎です。ご興味のある方、是非入会下さい。尚、H18年には時習館OBとの親善囲碁会も企画しています。(文責：岡高13回藤田訓弘(メール：kfujita@muc.biglobe.ne.jp))



段戸俳句会

私は水彩画を描いていますが、出会いの感動が絵になります。冬か先生が「季語に出合ったらまず挨拶する。そして話しかける気持で愛情深く観察させて貰う。」とお書きになっていらっしゃいますがまったく同じなのです。

先生の魔法のような添削のおかげで未熟な原句がよりいきいきと豊かに変身するので毎回わくわくしています。

文責：高14回 中島 彩(綾子)

(写真は平田冬か先生(高14回))



段戸華教室

華の作家の水谷鏡子さん(首都圏段戸会副会長 高14回)にご指導をいただいております。昨年はアレンジメントの他、首都圏段戸会総会のテーブル装花やクリスマスリース作りにも挑戦しました。少人数で、初めての方にもわかりやすく、基本・心構えからしっかりと教えていただけます。一心に花と向き合う快い緊張

感とレッスン終了後の楽しいお茶の時間は、日常ではなかなか得難い、素晴らしいひと時だと感じております。レッスンの様子はHPにも掲載されております。どうぞご覧下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

文責：高45回 西浦瑞恵



段戸「山の会」

この秋「段戸山の会」は、第2回山行を挙行了しました。参加者は高6回から34回までの6名で目指したのは北八ヶ岳の主峰「北横岳」。男性的で険しい岩嶺が多い南八ヶ岳に対して北八ヶ岳は針葉樹林に囲まれ、美しい湖沼や坪庭が抱かれています。登頂前日に山小屋に到着し、翌日早朝標高2480mの北横岳に無事全員登頂を果たし、雲海から顔を出すアルプスの山並みを堪能しました。

ランプと薪ストーブの素朴な山小屋も大好評!下山後の蓼科温泉と手打ちそばはさらに登山の疲れを吹き飛ばしました。次回は新緑の5月に春の登山を企画する予定です。

文責：高34回 板谷敏正



段戸音楽会

'05.11.3 総会懇親会でBGM(「威風堂々」「主よ、人の望みの喜びよ」)、校歌の伴奏を担当(ピアノ、クラリネット、フルート。前は尺八・ピアノの独奏(今回は女性のサクソも参加予定?))。プロの指揮者大河内(高42回)さんにご指導いただき、まずは校歌を多くの皆様にご愛用の楽器で合奏して頂く事を夢見しています。(当日は午前10時より会場で練習)♪ 音楽鑑賞会

(プロでご活躍の同窓生の方々のコンサート他、エピソードを交えての「My Favorite Music」の紹介等)新年会で企画検討。音楽を通して<和・絆>を感じられる世代を超えての楽しい会です。皆様のご参加をお待ちしております。

文責：高17回 山田博子



段戸ゴルフ会

大寒気団の下、疾風枯葉の巻く中、ゴルフ好きの皆様には、研鑽に余念のないこととお察し申し上げます。昨年は大熱海C.C.にてこじんまりとコンペを行いました。今年は、二回、4月と10月を予定しております。

4月は、リタイア組み等、時間の自由になる方を対象にウィークデイとし、10月は現役組も出場しやすくなるように日曜日を考えております。

間もなく、幹事たちで相談の上、「春の段戸ゴルフ会」の開催要領(日時、場所、料金等)を「首都圏段戸会のホームページ」掲示いたします。皆様お誘い合わせの上、是非是非ご参加くださいませ。(以外に名門コースで出来たりして……。)

文責：高10回 木村富司雄



首都圏段戸会ホームページ

首都圏段戸会では、会員同士の情報交換の場となる事を目的に、2003年9月よりHome Pageを立ち上げました。

特に、高校を卒業して上京された若手の会員の方は、生活の第一歩は首都圏段戸会のHome Pageを訪れる事から始めましょう。

URLは <http://homepage3.nifty.com/dandokai/> です。

ここで会員登録をして頂くと、段戸フォーラムや、段戸サークル、趣味の会（段戸囲碁会、段戸音楽会、段戸華教室、段戸句会、ゴルフの会、山の会）等の様々な行事の案内をメールにて会員担当から配信致します。また、これらの申し込みも全てHome Pageからできる様になっています。首都圏段戸会の活動は総会だけではなく、様々な行事が続々と企画されますので、これらに参加していれば、都会で「ひとりぼっち」なんて生活とは無縁です。このHome Pageを

きっかけにして、首都圏での生活がいっそう実りある物になることは間違いありません。

若い方々ばかりではなく、最近家にインターネット環境が整った方も、まずは、首都圏段戸会のHome Pageのアドレスを「お気に入り」に登録して、どんどんアクセスして下さい。2004年1月から発足したHP企画小委員会（村木央明（高19回）、福山透（HP管理人ボス、高19回）、辻村貴典（高20回）、天野隆太郎（高20回）、山田俊文（高21回）、青山裕治（高22回）、西浦瑞恵（HP管理人、高45回）、山口知子（HP管理人、高26回））もアクセス数が増える程、励みになり、さらに「活気あるページ」、人が人を呼び、企画が企画を呼ぶ「賑わいのあるページ」作りに頑張っています。

文責：山口知子（高26回）

段戸フォーラム

「首都圏段戸会に新しい活動を！」という思いを込めて始めた段戸フォーラム。各分野で活躍をされている岡高OBの講師を中心に、同じ岡高OB15～30名が集まり、一種の塾のような雰囲気です。日頃聞けないような専門的なお話を1時間程お聞きして、その後はQ&Aと懇親会。皆同じ同窓の仲間、それがもたらす信頼感と親近感から、通常の講演会では恥ずかしくてなかなかできない質問もあちこちから出て、あるときは講師に代わって出席者から回答が出たりして、アツという間に年代（これまで併中3回～高49回の幅広い層が参加）の壁が取り払われて、フォーラムが終わる頃には旧知の仲になってしまいます。何時も3時間の予定時間オーバーするという盛り上がりを見せています。

これまで2年間で、外村仁会長（高8回；元野村証券副社

長）の証券金融のお話を皮切りに、福山透さん（高19回；東大大学院薬学系研究科教授）を中心に薬学系シリーズを3回。黒田直樹さん（高11回；元資源エネルギー庁長官、住友商事副社長、現在 国際石油開発社長）のエネルギー問題、重徳和彦さん（高41回；元消防庁消防課課長補佐、現在 広島県地方税財政室長）の新潟県中越地震の教訓等々各分野の第一人者、第一線で活躍されている会員を囲んで6回にわたって開催しています。

今年からは企画委員会を組織して、これまで以上に活発に段戸フォーラムを開催する予定です。「ここに、こんなに頑張っている人がいます。」「こんな人の話が聞きたい。」「こんなテーマを取上げて欲しい。」など皆さんのご要望を、世話人またはHome Page（「お問い合わせ」）の方にお寄せ下さい。

文責：村木央明（高19回）

若手会員の忘年会 in Tokyo

12月17日午後6時より、新宿のイタリアレストランにて岡崎高校OBによる忘年会が行われました。参加者は19回生の方から45回生の方まで幅広く出席して頂き、27人を数えました。

最初に幹事が乾杯の挨拶を行った後は、テーブルごとにご飯を食べながらの交流。始まった時には友人同士で固まっておりましたが、途中からは皆さん打ち解けてきて積極的に席替えをし、多くの方とお話しをしていました。

今回は学生が多く出席したのですが、普段はあまり社会人の方と交流することが無い中で、学生同士とは違った雰囲気を感じ取ることができ、また貴重な経験談を聞くことは、より良い刺激になったと思います。

最後は首都圏段戸会の副事務局長をされている村木さんのお話によって、無事に会を終る事ができました。

2時間程の交流でしたが、首都圏で活躍されている多くの

先輩方がおられ、段戸会という名の下に集まれるのは素晴らしいことだと思いました。私も岡崎高校OBというだけで、こんなに楽しめる場に参加できることの幸せを感じる事が出来ました。

文責：芳武慶一（高54回）



平成17年度総会・懇親会報告

2005年11月3日第33回首都圏段戸会総会が約200名参加のもと、会務報告、講演会、懇親会の三部構成で開催されました。

講演会はNHK報道局気象・災害センター長の小嶋富男氏(高20回)による「テレビ地震速報の舞台裏」でした。まさに地震大国日本を支えてきたプロジェクトXであるテレビ地震速報の仕組みや苦労話について、こぼれ話を含めてわかりやすく御説明いただき、地震と思ったらまずテレビ!と感じました。

続いて、立食形式での懇親会が行われ、乾杯の後は、懐かしい顔との再会、新たな出会いがそこかしこで繰り返され、会場内は熱気に包まれました。招聘恩師の伊野一彦先生(保健体育)、仲井さち先生(家庭科)、渡辺邦男先生(英語)、小林幸二先生(化学)に加え大久保玉恵先生にもご参加頂きました。岡崎から、同窓会会長の深田正義さん、矢作会の左右田健次会長も駆けつけて下さいました。

今年から学生料金をもうけたこともあってか、大学生の若手も集まってくれ、また一味違った雰囲気となりました。大先輩から若手まで入り交じった交流の場となり、最近の「高校力」という言葉どおりに首都圏で活躍する同窓生のネットワーク

ワークがどんどん広がっていることを実感しました。

最後は懐かしの校歌斉唱で締めくり、あっという間のひとときでした。次回の総会は11月18日(土)に開催されます。今回は残念ながら参加できなかった皆さんも、是非一度、岡崎高校のネットワークを感じに来てください。新たな発見が必ずありますよ!

報告：長野麻子(高42回)



●●● 平成17年度総会出席者の一言 ●●●

真木 宏哉 (高13回)

「11月3日・文化の日。私は、文字どおり文化的な一日を過ごすことができました。予て、その高名振りについては仄聞し、都庁にそのまま奉職しておれば、私も会員であったはずの段戸会への初参加でありました。予想に違わず、その品格・ボリューム・アミューズメント、全ての要素において、心の故郷「岡高」を100%体感させてくれた集いでした。ありがとうございました。」



大久保玉恵 (高27回)

段戸会投句経験アリ、メル友は数知れず。ただしどなたとも面識なし。地元岡崎web site担当者として今回初めて、皆様と「ご対面」を果たして参りました。なんだか田舎の働く電腦主婦、大東京オフ会初参加! 気分でしたが……。あらためて「あの頃」と「あの頃の未来」とを、こうしてともに共有できるありがたさと幸福をしみじみと感じました。



関戸 博高 (高20回)

今回、卒業38年にして初めて首都圏段戸会に出席致しました。そこは将にタイムマシンの中にいるようなものでした。あの青春の頃と現在が頭の中で同時に存在してしまうという不思議な体験をさせて頂き、同窓生の皆様から新たなエネルギーを頂いた思いです。来年もまたこの不思議な時間を共有させて頂きたいと思っております。



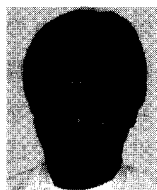
伊藤 優志 (高43回)

「4年半ぶりに東京に戻り、初めて参加しました。総会では、多士済々の方々とお話ができ、充実した時間を過ごすことができました。また、総会で知り合った先輩と、その後も時折お会いするようになったため、そのきっかけとなったこの集まりの有り難さを実感しています。時には、高校時代の振り返る機会に身を置くのもいいものです。」



清水 敬親 (高26回)

はじめて首都圏段戸会総会に参加。20歳で岡崎を離れ北関東(群馬)に住みついて早30年、心の中で次第に小さくなっていった「岡崎高校」が再びグッと大きくなった気がしました。本当に久しぶりに同学年の面々に会えて心が和み、脊椎外科医として国内外を飛び回っている慌ただしい日常に、あらたな活気が注入された思いでした。



永井 将貴 (高50回)

私は卒業8年目にして、友人の勧めもあり懐かしさを感じ、初めて首都圏段戸会に参加させていただきました。予想通り若い世代の参加が少なく、少し戸惑いを感じましたが、親の世代の先輩方に、同世代の仲間とは違う様々なお話を伺うことができました。同郷ということでも、お互いに親近感があり、とても楽しく会を過ごすことができました。私の父も岡高の卒業生なので、次はぜひ父と一緒に参加したいと思っています。



本年度の「総会・懇親会」は11月18日(土)!

★第34回(2006年度)「首都圏段戸会総会・懇親会」開催予定★

- ・日 時 2006年11月18日(土)
午後1時30分～午後5時
- ・場 所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
- ・住 所 東京都千代田区九段北4丁目2番25号
- ・T E L 03-3261-9921

平成18年度世話人

(高2回)服部 登	(高18回)石原 莊介	(高32回)堀内 友二
(高3回)丹羽 鼎	(高19回)岡部 芳郎 福山 透	(高34回)板谷 敏正 井上由美子
(高6回)有馬 弘政 小六 要子	村木 央明	(高35回)板倉 信吾
(高7回)斉藤 悦子	(高20回)天野 隆太郎 辻村 貴典	(高37回)市川 智基
(高8回)杉浦 嘉久 外村 仁	(高21回)清水 照雄 丸川 美雪	(高40回)永田 賢也
(高10回)木村 富司雄	山田 俊文	(高41回)磯谷 陽子 平山 健二
(高11回)中根 淳	(高22回)青山 裕治 上田 洋子	(高42回)長野 麻子
(高12回)鶴田 文男 成瀬 徹	(高23回)高橋 俊光	(高43回)鴻池 奏
(高13回)藤田 訓弘 本多 正之	(高25回)戸田 譲三	(高44回)安藤 穰
(高14回)水谷 鏡子 磯尾 進	(高26回)織田 利彦 山口 知子	(高45回)筒井 貴之 西浦 瑞恵
(高15回)満江 信之	(高27回)宮川 龍也	(高46回)杉浦 清美
(高16回)鈴木 貞雄	(高30回)米津 智徳	(高48回)荻野 友佑子 篠原 貴子
(高17回)伊与田 正彦 佐伯 寛子 山田 博子	(高31回)高原 正之 藤井 義之	

トピックス!

いつも皆さんに楽しんでいただいている、ホームページの「総会・懇親会」の様子を写した「写真集」は、この3年来、永井寛さん(高23回)が代表取締役をされている文化工房のご協力で、撮影されたものです。岡高OB・OGのネットワークの広さにあらためて感謝感謝……。

昨年秋の会報でもお伝えしましたが、岡崎を舞台にしたNHK朝のドラマ「純情きらり」、すでに昨秋から「八丁みそ」の蔵元で撮影が始まっています。4月からの放映が楽しみです。

編集後記

年1回毎年秋に発行している「首都圏段戸会報」ですが、「春号」も発行し卒業をまじかに控えた母校の3年生にも配布してはとの提案をもとに、校長先生の賛意も得て、試験的にその第1号(春号)を制作・発行しました。いずれは首都圏の庭に来るであろう後輩たちに「首都圏段戸会」の存在を知って貰う良い機会になればと思います。年2回発行はまだテスト段階ですが、今後これが定期発

行に結びつけば、毎年の「総会・懇親会報告」等、従来は1年遅れの記事が多々ありましたが、そういった時間差もかなり解消されると思います。但し、その為には予算的な問題等クリアせねばならぬ問題もあります。広報担当としては是非前向きに取り組みたいですと思っていますが、会員の皆様の応援をよろしく申し上げます。(編集者:高8回 杉浦嘉久、高42回 長野麻子)